

## 旅立ち

3月といえは卒業。

町内の小中学校は、卒業の雰  
囲気にあふれ、心地よく響く旅  
立ちの歌声の中にも、少し寂し  
い空気が漂う。

送り出される子どもたちは、  
これからの新しい生活に向けて  
期待と不安を持ちつつ、毎日を  
過ごすのだろうか。

少し、私のことを話させてほ  
しいと思う。

昨年3月、高校3年生を送  
り出し、自分自身も7年間の教  
員生活を卒業して、この大崎町  
にやってきた。期待と不安とが  
交互にやってきては、心を落ち  
着かせるのに必死になっていた  
ことを思い出す。

環境の変化は、心を大きく変  
化させる。自分では当然だと思  
っていたことが、他の環境だと  
通用しなかったり、自分の立ち  
位置がわからなくなったりする

こともある。

「これだと、環境が変化すると  
いうことは、不安（マイナス）  
の部分が大きく感じられるが、  
期待（プラス）の部分も大いに  
あると思う。」

自分の思い悩んでいること  
が、実は他人（他の環境）にと  
っては、どうでもいいことだっ  
たりする場合もある。これまで  
発揮できなかった力、潜在的な  
力が、新しい環境では発揮でき  
るかもしれない。こう考える  
と、新しい環境に身を置くこと  
は素敵なことのように感じられ  
る。

私自身も大崎町に来て、より  
人の縁や優しさに感謝するよう  
になった。誰も知らない、何も  
知らない土地だからこそ、失い  
かけていた『謙虚』な姿勢をも  
う一度取り戻したいという気持  
ちになったし、声をかけてもら  
えることの有難みも、家族の存  
在の有難みも感じられている。  
自分の置かれた、一見苦しい  
状況も、肯定的に見れば、あら  
ゆるものが好転してゆく。

3学期は、町内の小学校全  
て、1週間ずつ行かせてもらっ  
たが、毎週違う環境に飛び込ん

でいくということは、緊張の連  
続で不安もあった。しかし、勇  
気を出して入っていけば、温か  
な笑顔で迎えてくれる子どもた  
ちや先生方の存在があった。不  
安もかき消されるほどの安堵を  
感じ、『この子たちのために何  
かできることは…』と前向きに  
思考を向けることができた。

自分のことを語りすぎてしま  
ったが、つまり私の言いたかつ  
たことをまとめると：

新たな次のステージに向かう  
皆さん、未知なる自分に出会え  
ることに、

『おめでとう』

『がんばれ！』

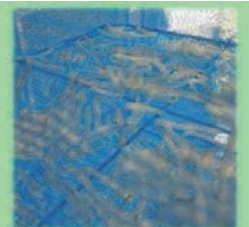
（地域おこし協力隊

河瀬 史奈）



### 今月の一枚

2月3日の一枚！  
さて、私が何をしたか  
わかりますか？(笑)  
ヒントは赤い顔と青い顔！  
豆を投げられ、飛んで逃げ  
ました！  
邪気を払い、1年の無病息  
災を願って…。



あすはるの温泉で出会っ  
た奥様から、たくさんの大  
根と白菜をいただきました！ありがとうございます！大根は干し大  
根に初挑戦！出来上がりが楽しみです！